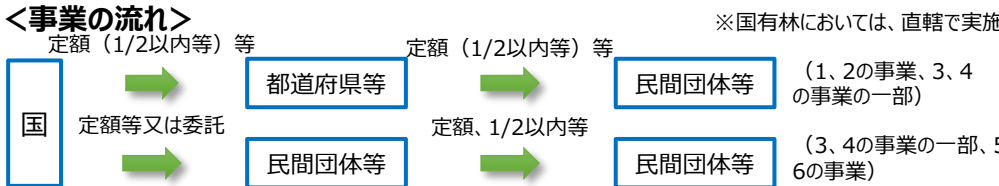


＜対策のポイント＞
林業・木材産業の体質強化や国内需要の拡大に向けて、**原木・木材製品等の生産体制の強化、森林の集積・集約化、スマート林業技術等の開発・実証と活用、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保等を支援します。**

＜事業目標＞
国産材の供給・利用量の増加（35百万m³〔令和6年〕→ 42百万m³〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. **林業・木材産業の生産基盤強化＜一部公共＞**
路網整備、先進的な林業機械等の導入、再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備等を支援します。
- 2. **森林の集積・集約化の実証・展開**
森林の集積・集約化を促進するため、国有林と民有林が連携しつつ、関係者による情報共有や合意形成、経営管理の一層の円滑化に役立つ条件整備等の実証の取組を支援します。
- 3. **スマート林業・DX等先端技術の実装の推進**
森林資源情報のデジタル化、スマート林業技術の開発・実証と活用、木質系新素材の開発・実証を支援します。
- 4. **建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）**
中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証、CLT等に係る技術開発や建築実証、木造公共建築物の整備、木材利用による温室効果ガス（GHG）排出削減効果の「見える」化の促進等を支援します。
- 5. **木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）**
日本産木材製品のプロモーション活動、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品・技術開発や性能検証の支援等を実施します。
- 6. **林業の担い手の育成・確保**
新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入、他地域・他産業との連携等を支援します。



＜事業イメージ＞

林業・木材産業の生産基盤強化

- 木材製品の国際競争力の強化に向けた合板・製材・集成材工場等の生産性向上・高付加価値化のための木材加工流通施設の整備
- 原木の低コストかつ安定的な供給のための路網整備、先進的な林業機械等の導入、搬出間伐の実施 等



木材加工施設の整備 路網の整備

森林の集積・集約化の実証・展開

- 国有林と民有林が連携しつつ、関係者の協議による集約化に係る情報整備・共有や合意形成、ICT等を活用した森林調査や境界の明確化等の条件整備 等



地域協議会の開催

スマート林業・DX等先端技術の実装の推進

- 路網整備や施業集約化を省力化・効率化する森林資源情報のデジタル化
- 林業の安全性・生産性の向上に資する、スマート林業技術の開発・実証と活用 等



自動運転フォワーダ

木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）

- 日本産木材製品の認知度向上
- 付加価値の高い木材製品の輸出促進に向けた製品開発・性能検証
- 特用林産物の輸出に向けた課題解決
- 改正クリーンウッド法の施行状況把握調査 等



輸出先国の規格・基準に対応した性能検査

建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）

木材製品の消費拡大に向けた

- 中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証
- CLTを活用した設計・建築等の実証
- 木造公共建築物の整備
- 木材利用による温室効果ガス排出削減効果の「見える」化 等



中高層建築物等におけるJAS構造材の利用実証

林業の担い手の育成・確保

- 新規就業者が効率的な技術等を習得するための体系的な研修
- 労働安全衛生装備・装置の導入、他地域・他産業との連携 等



労働安全装備

林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞【お問い合わせ先一覧】

事業		林野庁担当課	電話番号
1. 森林の集積・集約化の実証・展開			
集積・集約化に向けた関係者の合意形成、経営管理の権利設定のための条件整備を行う実証等の取組		森林利用課	03－6744－2126
2. 林業・木材産業の生産基盤強化のうち、			
木材産業の輸出促進・体質強化対策	生産性向上や競争力のある製品生産等に向けた木材加工流通施設等の整備、木材の物流の効率化に向けた構築	木材産業課	03－6744－2292
原木の生産基盤整備・低コスト安定供給対策	路網整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化	整備課	03－6744－2303
	原木の供給力強化に向けた先進的な林業機械等の整備	経営課	03－3502－8055
3. スマート林業・DX等の先端技術の実装の推進のうち、			
原木供給力の強化に向けた森林資源情報のデジタル化		計画課	03－6744－2339
スマート林業技術の開発・実証と活用、木質系新素材の開発・実証		研究指導課	03－3501－5025
4. 建築用木材供給・利用の強化（木材製品の消費拡大対策）のうち、			
中高層等JAS構造材実証支援、CLT建築実証支援、建築物LCA・改正SHK制度による木材利用促進に向けた環境整備、木材産業における外国人材の受入れ強化支援		木材産業課	03－6744－2294
外構部等の木質化対策支援、木造公共建築物等の整備		木材利用課	03－6744－2626
5. 木材需要の創出・輸出力の強化（木材製品等の輸出支援対策）のうち、			
日本産木材製品のプロモーション活動等支援		木材利用課	03－6744－2299
輸出先国のニーズに合わせた木材製品の開発支援		木材産業課	03－6744－2295
特用林産物の需要拡大		経営課	03－3502－8059
改正クリーンウッド法施行状況把握調査		木材利用課	03－6744－2496
6. 林業の担い手の育成・確保			
新規就業者への体系的な研修、労働安全衛生装備・装置の導入等		経営課	03－3502－1629
（全般について）		計画課	03－6744－2082

<対策のポイント>
 燃油・資材の価格高騰や供給難への対応として、木質バイオマスエネルギーへの転換促進に向けた取組、きのこ生産者等のコスト低減等に向けた取組を支援します。

- <事業目標>
- 国産材の供給・利用量の増加（35百万m³〔令和6年〕→42百万m³〔令和12年まで〕）
 - きのこ類の生産量（43万t〔令和6年〕→47万t〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

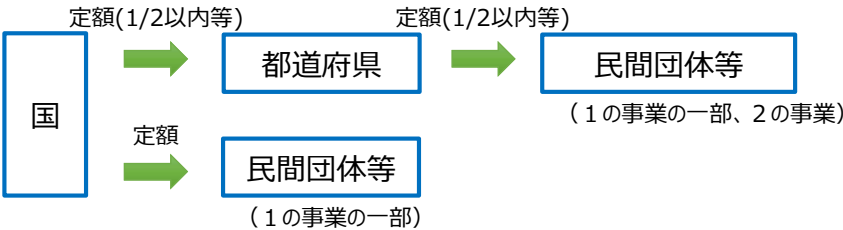
1. 木質バイオマスエネルギー転換促進対策

燃油から木質バイオマスエネルギーへの転換を促進するため、木質バイオマスの収集・運搬の効率化に資する機材、木質燃料製造施設及び木質バイオマス利用施設の整備を支援します。また、木質バイオマスの効率的な集荷に取り組む事例の調査を支援します。

2. 特用林産生産資材高騰対策

- ① 省エネ化や生産性向上を促進するため、木質資源利用ボイラーやヒートポンプ等の省エネ機器の導入を支援します。
- ② コスト低減等に取り組む生産者に対し、原木、おが粉など次期生産に必要な生産資材の導入費の一部を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

木質バイオマスエネルギー転換促進対策

収集・運搬の効率化に資する機材整備

- ・移動式チップパー、林地残材収集運搬車の導入 等

木質燃料製造施設整備

- ・チップ、ペレット、薪製造機材設備、乾燥施設の導入 等

木質バイオマス利用施設整備

- ・公共施設等における木質資源利用ボイラー、燃料貯蔵庫等の導入 等



移動式チップパー



ペレット製造施設



木質資源利用ボイラー



特用林産生産資材高騰対策

コスト低減等に取り組むきのこ生産者等に対し、

- ① 木質資源利用ボイラーやヒートポンプ等の省エネ機器の導入等を支援
- ② 次期生産に必要な生産資材の導入費の一部※を支援

※ 生産資材（原木、種駒、菌床、種菌、おが粉、栄養体等）の価格上昇分の1/2相当（経営費に占める電気代の割合に応じて、補助率を7/10相当まで高上げ）

※ コスト低減及び原料の国産化に向けた取組の実施が要件



木質資源利用ボイラー



ヒートポンプ



原木



菌床

[お問い合わせ先] (1の事業) 林野庁木材利用課 (03-6744-2120)
 (2の事業) 林野庁経営課 (03-3502-8059)

花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞

令和7年度補正予算額 5,614百万円

＜対策のポイント＞
「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、花粉の飛散防止、スギ花粉米の安全性・有効性の検証等の総合的な対策を推進します。

＜事業目標＞
スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 5,564百万円

① スギ人工林の伐採・植替え等の加速化
スギ人工林伐採重点区域における、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による森林の集約化を支援します。

② スギ材の需要拡大
住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、スギ材の活用に向けた技術開発、集成材工場や保管施設等の整備、建築物等へのスギ材利用の機運の醸成を支援します。

③ 花粉の少ない苗木の生産拡大
官民を挙げた苗木増産体制の強化、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発、花粉の少ない苗木の広域流通等を支援します。

④ 林業の生産性向上及び労働力の確保
意欲ある木材加工業者等に対する先進的な林業機械の導入等を支援します。

⑤ 花粉飛散量の予測・飛散防止
花粉飛散予測に向けた森林資源情報の高度化、スギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援し、社会実装を加速化します。

（関連事業）林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞
44,993百万円の内数

2. スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証 50百万円
実用化に向けた作用機序の解明、安全性・有効性のデータの取得等を進めます。

＜事業の流れ＞

国

民間団体等

都道府県

民間団体等

都道府県等

民間団体等

民間団体等

（1②、③、⑤の事業の一部、2の事業）
（1③の事業の一部）
（1①及び④の事業、1②及び③の事業の一部）
※ 国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域において、伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進

・森林所有者への働きかけ支援による森林の集約化の促進

＜路網の整備＞

＜再造林＞

スギ材需要の拡大

・住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進

・スギ材活用に向けた技術開発

・集成材工場、保管施設等の整備

・建築物等へのスギ材利用の機運の醸成

＜スギJAS集成材＞

花粉の少ない苗木の生産拡大

・森林研究・整備機構による原種苗木増産

・都道府県による種穂増産

・民間事業者による苗木生産施設及び生産体制の強化

・細胞増殖による苗木大量増産技術の開発

・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進

・原種増産技術の開発等

＜原種増産施設＞

＜閉鎖型採種園＞

飛散対策

スギ花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測に向けた森林資源情報の高度化を推進

＜林相区分図の整備＞

スギ花粉の飛散防止

・森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援

＜花粉飛散防止剤により枯死した雄花＞

発症・曝露対策

スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証

・スギ花粉米（※）の実用化に向けた作用機序の解明、理論を裏付ける安全性・有効性のデータの取得 等

※ 構造を改変したスギ花粉症の原因物質をコメに蓄積させ、免疫寛容を誘導する新しい治療法

花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策 <一部公共> [お問い合わせ先一覧]

事業		担当部署	電話番号
①スギ人工林の伐採・植替え等の加速化	伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業	林野庁整備課	03-6744-2303
	森林所有者への働きかけ支援による森林の集約化	林野庁森林利用課	03-3501-3845
②スギ材の需要拡大	住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進	林野庁木材産業課	03-6744-2295
	スギ材の活用に向けた技術開発	林野庁木材産業課	03-6744-2295
	集成材工場や保管施設等の整備	林野庁木材産業課	03-6744-2292
	建築物等へのスギ材利用の機運の醸成	林野庁木材利用課	03-6744-2298
③花粉の少ない苗木の生産拡大	森林研究・整備機構における原種苗木増産	林野庁研究指導課	03-6744-2312
	都道府県における種穂増産	林野庁研究指導課	03-6744-2312
	民間事業者による苗木生産施設及び生産体制の強化	林野庁整備課	03-3502-8065
	細胞増殖による苗木大量増産技術の開発	林野庁研究指導課	03-6744-2312
	増産苗木広域流通等の促進	林野庁整備課	03-3502-8065
	原種増産技術の開発等	林野庁研究指導課	03-6744-2312
④林業の生産性向上及び労働力の確保	意欲ある木材加工業者等に対する先進的な林業機械等の導入	林野庁経営課	03-3502-8055
⑤花粉の飛散量の予測・飛散防止	花粉飛散予測に向けた森林資源情報の高度化	林野庁計画課	03-6744-2339
	スギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査	林野庁森林利用課	03-3501-3845
(林野庁の花粉症対策施策全般について)		林野庁森林利用課	03-3501-3845